

鶏肉摂取による体熱産生亢進作用に関する研究

共生基盤学専攻 食品安全・機能性開発学講座

高林 尚将

【背景と目的】中国の薬膳五性において、鶏肉は体を温める「温」に分類されている。本研究室ではこれまでに、実験動物を用いて鶏肉の摂取により体温上昇が起こることを示した。しかしながら、どのような機構で体温上昇が引き起こされるのか、その有効成分については明らかにされていない。本研究では、鶏肉摂取による体温上昇機構の解明と有効成分の探索を目的に、動物実験により検討を行った。

【方法】分画した鶏肉を配合した飼料をラットに摂取させ、摂取後の体温を測定した。また、血液および組織を採取し、各種分析に供した。

【結果】鶏赤身肉摂取によって体温上昇が見られ、いくつかのホルモンの分泌が促された。また、肝臓において様々な代謝に関与する多くのタンパク質の発現量が増加し、代謝を亢進していることが示唆された。

【考察と結論】鶏赤身肉の摂取によって、いくつかのホルモンの分泌が促されることにより、肝臓における様々な代謝が活性化された結果、体温が上昇した可能性が示された。